

近世真継家配下鑄物師人名録 (1)

笹本正治

序にかえて

各産業の歴史に関する研究は近年長足の進歩をとげている。鑄物業も例外ではなく、⁽¹⁾(a) 地域の特殊産業としての鑄物業を、郷土史の側から追求するもの、(b) 鐘や鰐口等の鑄物製品自体を研究するもの、(c) 全国的な鑄物師組織に目を向け、これを日本史の中に位置付けようとするもの、の大別して三方向から研究がなされ一定の成果があがっている。この中では市町村史・業界史等で触れられることもあつて、郷土史としての研究が最も蓄積が豊富で、各地の鑄物業の実態が報告されている。しかし郷土史的研究は各産地によって進捗状況に大きな差があり、鑄物産地として有名な地域でも全く放置されたままになつている所もある。次に鑄物製品の研究では、焼鐘のように大きく進展しているものと日常品のように手つかずのもの等、製品の種類によつて差があり全体的にはまだまだの感がある。三つの視点の中では全国的な組織研究が一番遅れており、特に近世については今後の研鑽が望まれている。なおこれら三方向からの鑄物史研究は、それぞれ独自に行われており、互いの協力関係は少ない。

日本産業史解明のためにも鑄物史はよい材料を提供すると考えられるので、こうした研究状況下では三方向からの研究を各々深化させ、また互いの成果を利用しながら、鑄物業の歴史を日本史全体の中に位置付けていくことが緊切である。このため地域研究は、作品研究等で明らかにされた鑄物産地や鑄物師名を参考に、これまで手のつけられなかつた産地の研究にも着手し、過去に業績のある地ともども地域の特徴や鑄物経営の実態把握を密にせねばならない。そしてこの成果を基に他地域との比較や全国組織とのかかわり等を追求して、日本史の中に地域を位置付けることが必要である。また作品からの研究では、鰐口や焼鐘等から日常用品にまで対象を広げ、地方史等の成果を吸収して、形態の時代変化、地域的差異等の研究をさらに精緻なものにしなければならぬ。全国的な視野からの研究の場合では、他の時代ほど成果があがっていない近世の水準をあげることが先決で、このためには全国的な鑄物師支配をしていた真継家に着目し、その配下に入つた鑄物師名と居住地の確認、彼等が支配に組み入れられた時期、支配方法の変遷、また下級公家である真継家の役割と鑄物師支配の関係、真継家の家政等を説明していかなければならない。

いずれにしろ、目下の鑄物史研究を進めるためには鑄物師の居住地とその名前を知ることが必要であるが、江戸時代には諸国の鑄物師の名寄帳がいくつか作成されており、その一部は既に板倉勝高氏²⁾、中川弘泰氏³⁾、村内政雄氏⁴⁾によって紹介され活字化されている。この中で特に詳しい記載を持つのは、村内氏の報告した「由緒鑄物師人名録」で、目下の鑄物師研究に欠かすことのできないものである。しかし各地の鑄物師研究の成果により、「由緒鑄物師人名録」に洩れた者も多々あることが判明しており、この史料では各地の鑄物師が何時頃から真継家と関係を持つようになり、またどの程度の頻度をもって真継家と連絡をとっていたのか、さらに真継家ではどのような種類の文書を出していたのか、等の近世鑄物師の全国組織の実態を知るには十分ではない。そこでこうした欠点をも補いうるような、より多くの鑄物師名と、彼等と真継家の関係をも示すような鑄物師名寄帳の作成が課題となってきた。そしてもしこのようなものができるなら、鑄物師の研究はさらに飛躍的に進展する可能性がある。

ところで、近世にはほぼ全国の鑄物師を支配していた真継家に伝わった文書は、現在名古屋大学文学部に所蔵されている。その内容は主として鑄物師支配と、下級公家真継家の役割の一つだった例幣使とに関するものであるが、網野善彦氏⁵⁾によって紹介がされた鑄物師にかかわる中世文書以外は、まだ完全に整理が済んでいないこともあって、報告がなされないままになっている。真継家文書は鑄物師研究・下級公家研究・例幣使研究等に限りない材料を提供してくれることは間違いない。

なく、全体を早急に整理紹介することが望ましいが、少なくとも目下の状況では、網野氏の仕事の延長線上に鑄物師に関する近世文書だけでも整理せねばならない。

真継家文書の近世鑄物師関係史料で最も点数が多いのは、鑄物師職許状である。これは真継家が配下に入った者に対して鑄物業を許可する文書で、鑄物師あるいは真継家のいずれかの代替ごとに書き改められ、交付に際しては礼金を取り、古いものは真継家に回収された。そこでこの文書は鑄物師にとっても真継家にとっても、両者を結ぶ紐帯として最も重視されていたものといえる。同様の文書として、郡毎の市場独占を意味する大工職を許可した大工職許状もあった。鑄物師職許状あるいは大工職許状が与えられ、真継家の配下に入った鑄物師達には、互いの過当競争を防ぎ営業をスムーズにするために遵守すべきことがらや、真継家あるいは朝廷に対する義務等をまとめた鑄物師職座法も発給され、鑄物師仲間に対する統制がはかられた。近世に整備された座法は「鑄物師職座法之掟」として十九条より成っているが、この他に天正四年(一五七六)八月十三日付の一般に天正の座法と呼ばれる八条からなる座法の写も配布された。こうした座法の先駆をなすと思われるものに、特に真継家と鑄物師の関係を中心に七条にまとめた「定」、五条からなる「申渡」があるが、これも座法とみなされていたようである。さらに、鑄物師が作品の銘に彫りつける呼名を真継家で許可した呼名許状、天福元年(一二三三)あるいは暦応三年(一三四〇)付の藏人所牒といった鑄物師にかかわる旧書写、鑄物師の

由来をまとめた鋳物師職由来書等が、真継家文書中に含まれている。近世の真継家はこうした種類の文書の発給を通して鋳物師支配を行っていたので、真継家ではこれらの文書に常に注意を払い、古いものについては回収につとめ、また新たな文書の発給に際しては控や写を作成し、さらに各地の鋳物師にも旧書の写を書き上げさせている。

真継家が諸国鋳物師支配のために出した文書では、特に鋳物師職許状に注意が払われ、真継家文書中には、「甲 珍弘諸国許状之案」、「乙 諸国許状之案 矩弘代」、「丙 諸国許状之案 親弘代」、「諸国許状留四 量弘」、「天明三癸卯年從春同五年 同六年 同七年至文化二丑 鋳物師許状案 康寧」、「從文化三寅年 鋳物師許状案六 康寧」、「從文化十一子年至天保十亥年 諸国鋳物師許状留七 能登守則能」、「從嘉永三庚戌年 則能 從嘉永四亥年 至安政六丑年 能弘許状留九」、「從安政七庚申年 許状案十 能弘」の九冊の帳簿が残っている。以上の表題で明らかかなように第八冊目に相当するものは欠けているが、この九冊の帳簿によって真継家が発給した鋳物師職許状の発行年月と宛所はほぼ知ることができる。しかしこれらの帳簿は許状の発給時に記録されたものではなく、後年の調査によって作成されたものである、特に古い時期については、真継家文書中あるいは現地に許状が残っていないながら、記録洩れになっているものもある。

前記のように、真継家の支配に組み込まれた鋳物師には、必ず鋳物師職許状が与えられていたので、許状の宛所と年記とを見れば、真継家の配下となった鋳物師の名前、その居住地、各地の鋳物師がいつ頃

から配下となったのか、またその後どのような接触がなされたか等が明らかに、これをまとめることは大きな意義がある。そこで本稿では、前記九冊の帳簿および真継家文書中の一点文書や各地の鋳物師からの書上、さらに村内氏の報告された「由緒鋳物師人名録」等を参照して、真継家の配下になった鋳物師の人名録を作成してみたいと思う。同時に前記のようなこれまでの名寄帳の欠陥を補うために、真継家が鋳物師にあてて出した典型的な支配のための文書については、鋳物師職許状だけでなく他の種類のものも含めて、できるだけ広く集めその種類を付記し、発給年月も記すことにする。これによって真継家文書中の近世鋳物師支配関係文書の一端的紹介と、近世の全国的な鋳物師組織解明の基礎作業の手始めにしていきたいと思う。

注

- (1) 宮下史明「わが国鋳物工業の研究視点」(『早稲田商学』第二七四・二七五号、一九七八年)を参照していただきたい。
- (2) 板倉勝高「文政十一年改諸国鋳物師名寄記」(『流通経済論集』第三巻六号、一九六八年)
- (3) 中川弘泰「近世の鋳物師」(近藤出版社、一九七七年)
- (4) 村内政雄「由緒鋳物師人名録」(『東京国立博物館紀要』七号、一九六八年)
- (5) 網野善彦「真継文書にみえる平安末〜南北朝期の文書について」(『名古屋大学文学部研究論集』史学一九号、一九七二年)、「真継文書にみえる室町期の文書」(同二〇号、一九七三年)、「真継文書にみえる戦国期の文書」(同二二号、一九七四年)、「真継文書にみえる戦国期の文書」(同二三号、一九七六年)、「真継文書にみえる戦国期〜江戸初期の文書」(同二

凡例

○記載の順序は次のとおりである。

国名

居住地

鑄物師名

〔名寄帳等に見える場合の出典〕

文書発給年月(文書の種類)

○名寄帳の記号は、

〔名〕「諸国鑄物師名寄記」(文政十一年～嘉永五年)

〔姓〕「諸国御鑄物師姓名記」(嘉永七年)

〔控〕「諸国鑄物師控帳」(文久元年)

〔牒〕「禁裏諸司真継家名寄牒写」(文久元年)

〔由〕「由緒鑄物師人名録」(明治十二年)

のそれぞれ略で、各々の名寄帳に名前が記載されていることを示す。

これらは村内政雄氏の「由緒鑄物師人名録」によっている。

○文書発給年月の不明なものは、年だけあるいは文書の種類だけを示した。

○年月日だけのものは、この年に発給された文書を持っていたと伝えるが、内容の不明なものである。

○偽文書と思われるものもあるが、一応収録しておいた。

○文書の種類記号は、

(許) 鑄物師職許状

(大) 大工職許状

(座法) 鑄物師職座法之掟、なお控等では、天正の座法、定、申渡

等をも座法として示していることがある。そこでこの中にもこうした種類の文書の含まれる可能性がある。

(由緒) 鑄物師職由来書、鑄物師由来書等の鑄物師由緒書。

等を示す。右以外は一応内容がわかるようにしておいた。

○文書の種類の下に○が記されているのは、真継家文書中に、原本あるいはその写が帳簿以外のものとして残っていることを示す。

○宛所に数名の記載がある場合には、各人名毎に文書を収録した。

山城国

京三条金座

和田吉兵衛

〔名〕・〔控〕・〔由〕

文化十一年正月(許)

近藤勘兵衛

〔由〕

釜屋清右衛門

〔由〕

西村弥右衛門

〔由〕

釜屋忠八

〔由〕

釜屋九郎兵衛

〔由〕

貝島甚左衛門

〔由〕

釜屋源兵衛 [由]

釜屋清七 [由]

京三條油小路

国松庄兵衛 [姓]・[由]

寛政六年五月(許)○

京三條小川

近藤丹波掾

寛政五年一月(許)○

西京東洞院三条下ル

戸川宗四郎 [由]

慶応四年六月(入館許可書)

綾小路室町

名越弥右衛門 [由]

天福元年牒写

下知状

前田玄以判物

村井長門守貞勝書物

伏見鍵屋町

住友幸治 [名]・[控]・[由]

伏見堀詰

北川栄三郎 [由]

慶応三年八月(許)○

近世貞継家配下鋳物師人名録(1)(笹本)

京堺町高辻

近藤惣右衛門

文化六年一月(許)○

乙訓郡向日町

長谷川市兵衛 [由]

明治二年五月(許)

愛宕郡

加藤与兵衛

正徳四年一月(許)○

大和国

葛下郡五位堂村

杉田宇左衛門 [名]・[控]

文政六年一〇月(許)

天保六年六月(許)

安政三年五月(燈籠調進書)

安政三年五月(許)

慶応元年五月(許)

杉田越前大掾(宇左衛門)

文政七年一月(口宣案)

文政一一年五月(許)

杉田宇平(宇左衛門) [由]

名古屋大学文学部研究論集(史学)

杉田六兵衛

〔姓〕・〔牒〕

享保一四年一二月(許) ○・(仁安二年牒)・(天福元年牒)

享保一六年二月(許)

享保一九年四月(許)

宝曆四年二月(許)

明和七年八月(許)

天明四年三月(許)

寛政四年一〇月(許)

寛政一三年一二月(清涼殿燈籠調進書)

文化二年二月(許)

文化五年九月(許)

杉田文三郎

〔控〕

杉田又治郎

〔控〕

津田五郎兵衛

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

慶長一九年四月(口宣案・藤原求次周防少掾)

仁安二年牒写

天福元年牒写

享保一五年二月(許)

享保一五年八月(呼名許狀)

享保一九年四月(許)

元文三年七月(許)

宝曆四年二月(許)

明和七年八月(許)

天明四年三月(許)

寛政四年一〇月(許)

文化二年二月(許)

文化五年九月(大)

文政一一年五月(許)

天保六年六月(許)

安政三年一二月(清涼殿燈籠調進書)

安政三年五月(許)

小原善次郎

〔名〕・〔姓〕・〔牒〕

曆応五年牒写

享保一二年三月(呼名許狀) ○

享保一五年三月(許)

享保一九年四月(許)

享保二一年二月(許)・(曆応五年牒)

元文二年一二月(口宣案・藤原昌次石見掾)

元文三年七月(許)・(大)

宝曆四年二月(許)

明和七年八月(許)

天明四年三月(許)

寛政四年一〇月(許)

文化二年二月(許)

文化五年九月〔大〕

文化五年一〇月〔由緒〕

文政一一年五月〔許〕

小原栄太郎 〔名〕・〔控〕

天保五年一二月〔許〕

安政三年五月〔許〕

天保六年二月〔座法〕○

小原栄治郎 〔由〕

安政三年五月〔許〕

鑄物師中

寛保三年一〇月〔定書〕○

宝曆四年二月〔定書〕○

寛政四年一〇月〔曆応五年牒〕

文化二年二月〔曆応五年牒〕・〔定書〕○

添上郡鍋屋町

沼津弥左衛門 〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

慶長一九年四月〔口宣案・藤原久家備前少掾〕

享保一四年一二月〔許〕○

享保一五年二月〔許〕

享保一六年二月〔大〕○

宝曆四年二月〔許〕

明和七年一〇月〔許〕

近世貞継家配下鑄物師人名録(1)〔笹本〕

安永五年正月〔許〕

天明五年四月〔許〕

寛政五年七月〔許〕

寛政八年六月〔許〕・〔慶長一九年口宣案写〕

文政一一年二月〔許〕

天保四年九月〔許〕

安政二年一〇月〔許〕

安政二年一二月〔許〕

山中九郎兵衛 〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

天福元年牒写

享保一一年〔許〕○

享保一五年三月〔許〕

享保一九年四月〔許〕

元文元年一二月〔曆応五年牒〕

宝曆四年二月〔許〕

明和七年七月〔許〕

安永五年正月〔許〕

天明五年正月〔許〕

寛政一二年一二月〔清涼殿燈籠調進書〕

文化七年正月〔許〕

文化一一年二月〔許〕・〔大〕

文化一一年八月〔許〕

名古屋大学文学部研究論集(史学)

八

文政一年五月(許)

中村善四郎

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

安政二年一〇月(許)

天福元年牒写

安政二年一月(清涼殿燈籠調進書)

享保一五年三月(許) ○

慶応二年七月(許)

享保一九年四月(許)

松尾九兵衛

〔牒〕

元文元年一月(仁安二年牒)

慶長一九年四月(口宣案・藤原宗次筑前少掾)

宝曆四年二月(許)

享保一四年一二月(許) ○

明和七年七月(許)

享保一六年二月(許) ○

安永四年一月(許)

享保一九年四月(許)

天明五年四月(許)

元文三年一〇月(大)

寛政二年一二月(清涼殿燈籠調進書)

宝曆四年二月(許)

寛政八年六月(許)

明和七年七月(許)

文化一一年八月(許)

寛政八年六月(許)・(慶長一九年口宣案写)

文政一一年四月(許)

松尾九右衛門

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

天明五年四月(許)

安政二年一月(許)・(清涼殿燈籠調進書)

文化一一年(許)

添上郡西包永町

文政一一年五月(許)

中西弥兵衛

安政二年一月(許)

寛政五年一二月(許)

慶応二年七月(許)

添上郡今井町

鑄物師中

奈良屋太兵衛

寛政二年一月(天福二年牒)

天保四年一二月(許)

添上郡油留木村

河内国

茨田郡牧方村

田中二左衛門

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

天福元年牒本紙

仁安二年牒

建曆三年一月藏人所牒

貞応元年五月藏人所牒

永禄九年三月行水釜献納書

御藏下知状

慶長三年一〇月二日

元禄八年一二月(口宣案・藤原家成河内目)

正徳四年一月(許)○

享保一九年正月(許)

元文三年四月(幡之書付)

元文三年一二月(許)

安永四年正月(許)

天明三年六月(許)・(大)・(座法)○

寛政二年三月(口宣案・藤原朝臣宗次河内)

享和元年二月(許)・(大)

文化五年二月(許)

文化九年四月(許)

近世真継家配下鑄物師人名録(1)(笹本)

綿部郡長野村

安政七年正月(許)

田中佐太郎

〔名〕・〔控〕・〔由〕

享保一七年(許)

寛延二年(許)

宝曆四年(許)

安永四年(許)

天明四年(許)

寛政一〇年二月(許)

寛政一〇年三月(許)

文化八年七月(許)

文政一一年三月(許)

安政四年一〇月(許)・(座法)

慶応三年八月(許)

綿部郡上田村

田中喜太夫

〔牒〕

享保一七年四月(許)○

宝曆四年後二月(許)

田中大次郎

安永四年一月(許)

田中喜久次

〔姓〕

天明四年三月(許)・(座法)○

名古屋大学文学部研究論集(史学)

綿部郡岩室村

中林喜一郎 [由]

慶応三年三月(燈籠申付書)

丹北郡松原村新堂

芝池経太郎

明治三年四月(許)

澁川郡東足代村

上田弥右衛門

安永七年一二月(許)

上田利吉 [姓]

天明六年五月(許)

上田甚兵衛 [由]

安政七年正月(許)

石川郡富田林村

田中儀右衛門 [名]・[控]・[牒]

寛永元年三月(真継美濃守判物)

享保一五年一〇月(許) ○

享保一九年一〇月(許)

寛保三年九月(許)

田中喜兵衛

寛延三年正月(許)

宝暦四年後二月(許)

宝暦四年五月(許)

明和七年七月(許)

文政三年一二月(許)

文政一一年二月(許)

田中百蔵 [姓]・[牒]

安永八年五月(許)

天明三年四月(許)

寛政二年一二月(許)

寛政三年一二月(許)

寛政六年四月(許)

和泉国

大鳥郡堺津瓦町

山本伊右衛門 [名]・[姓]・[控]・[由]

元文五年二月(許)

寛政八年四月(許)

文政元年六月(許)

安政六年一二月(許)

池田次郎兵衛 [名]・[姓]

御蔵下知状

元文四年九月(許)

池田次郎右衛門

寛政六年二月〔許〕○

文化一三年一月〔許〕

池田次兵衛 〔牒〕

金屋伊兵衛

正徳四年一月〔許〕

元文五年二月〔許〕

文政元年六月〔許〕

河内屋伊兵衛 〔牒〕

大鳥郡堺農人町

八上庄兵衛 〔名〕・〔控〕・〔由〕

嘉永五年八月〔許〕

慶応元年八月〔許〕・〔天福元年牒〕

八上善兵衛 〔控〕

大鳥郡堺統湊村

田村喜兵衛 〔名〕・〔控〕・〔由〕

嘉永五年八月〔許〕

大鳥郡堺袖松村

金屋喜兵衛

安永六年一〇月〔許〕

泉南郡岸和田

村田与右衛門 〔姓〕・〔由〕

仁安牒写

近世真継家配下鑄物師人名録(1)〔笹本〕

天福牒写

文化二年七月〔許〕・〔仁安二年牒〕・〔天福元年牒〕

文化九年二月〔許〕・〔曆応五年牒〕

泉南郡岸和田五軒屋町

佐納吉右衛門 〔名〕・〔控〕

嘉永五年八月〔許〕

慶応三年八月〔許〕

泉南郡貝塚北町

宇野長右衛門 〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

安永五年四月〔許〕

寛政八年四月〔許〕

寛政一二年二月〔天福元年牒〕

嘉永五年八月〔許〕

慶応三年八月〔許〕

摂津国

大坂西道頓堀

藤井嘉兵衛 〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

天正六年二月〔口宣案・藤原朝臣顕信綱右衛門尉〕

宝暦五年〔許〕

文化二年二月〔許〕

山中正兵衛 〔名〕・〔控〕

名古屋大学文学部研究論集(史学)

山中正三郎(正兵衛)〔由〕

文化九年(許)

岩本九郎右衛門

〔名〕

山本九左衛門

〔姓〕

江川伝之助

〔姓〕

大坂道頓堀湊町

中江久右衛門

〔名〕・〔姓〕・〔控〕

寛政一一年八月(許)

文政一三年三月(許)

金屋伊右衛門

〔牒〕

正徳四年(許)

寛保二年三月(許)

宝曆五年正月(許)

大坂道頓堀釜屋町

堺屋九兵衛

寛保二年三月(許)

大坂道頓堀橋通

中江久兵衛

〔名〕・〔姓〕・〔控〕

大坂新難波中町

岩井常次郎

〔名〕・〔控〕

天保二年三月(許)

安政二年一月(許)

慶応三年八月(許)

岩井常三郎

〔由〕

黒崎八郎兵衛

〔名〕

文政三年二月(許)

文政一三年三月(許)

大坂新難波西町

金屋平助

〔牒〕

寛保二年正月(許)

金屋治左衛門

〔牒〕

大坂阿波町

岩本七郎右衛門

〔名〕・〔控〕

文政三年二月(許)

安政二年一月(許)

慶応二年三月(許)

岩本七次郎

〔由〕

天保九年八月(許)

大坂阿波座掘阿波町

金屋重郎右衛門

〔牒〕

宝曆二年八月(許)

宝曆五年正月(許)

大坂徳寿町

岩本九右衛門

文化九年三月〔許〕

文政一三年三月〔許〕

中江給兵衛

文政六年二月〔許〕

金屋忠三郎 〔牒〕

宝曆二年八月〔許〕

宝曆五年正月〔許〕

金屋治右衛門

宝曆五年正月〔許〕

安永五年一〇月〔許〕

金屋明右衛門

宝曆二年八月〔許〕

金屋嘉兵衛 〔牒〕

寛保二年三月〔許〕

宝曆五年正月〔許〕

寛政二年一〇月〔許〕

金屋嘉右衛門 〔牒〕

寛保二年三月〔許〕

宝曆五年正月〔許〕

金屋治兵衛 〔牒〕

宝曆五年正月〔許〕○

増田屋次郎兵衛

近世真継家配下鑄物師人名録(1)〔笹本〕

寛保二年三月〔許〕

宝曆五年正月〔許〕

増田屋市郎右衛門 〔牒〕

藤井喜兵衛

文政一三年二月〔許〕

安政二年一月〔許〕

大坂中之町

堺屋七九郎 〔牒〕

正徳四年〔許〕

宝曆二年八月〔許〕

金屋庄九郎 〔牒〕

宝曆五年正月〔許〕

金屋善兵衛 〔牒〕

寛保二年三月〔許〕○

宝曆五年正月〔許〕

金屋喜兵衛 〔牒〕

宝曆五年正月〔許〕

金屋清兵衛 〔牒〕

宝曆五年正月〔許〕

金屋太兵衛

寛保二年三月〔許〕

金屋六十郎 〔牒〕・〔由〕

名古屋大学文学部研究論集(史学)

仁安牒本紙

寛保二年三月(許)

金屋喜右衛門

〔牒〕

天満屋治兵衛

〔牒〕

大坂西高津新地

岩本平右衛門

〔名〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

文政四年一月(許)・(天福元年牒)

文政一三年二月(許)

安政二年一月(許)

安政四年四月(許)

安政五年二月(許)

安政六年一月(許)・(燈籠調進書)

文久二年正月(許)・(小工取締)

大坂唐物町巷丁目

宮崎弥三郎

〔名〕・〔控〕・〔由〕

嘉永六年三月(許)

安政二年一月(許)

大坂北久太郎町三丁目

岩本藤兵衛

〔由〕

文久三年一〇月(許)

文久四年三月(天福元年牒)

大坂南本町三丁目

奈良屋太兵衛

寛保二年三月(許)

大坂

天満河内少掾

天和二年四月(口宣案・藤原信秀河内少掾)○

正徳四年一二月(許)○

金屋八郎兵衛

寛政二年一〇月(許)・(仁安二年牒)

金屋九右衛門

寛政二年一〇月(許)

金屋久右衛門

寛政二年一〇月(許)○

両田屋伝之助

寛政二年一〇月(許)

金屋市郎兵衛

寛政二年一〇月(許)

金屋久兵衛

寛政二年一〇月(許)○

金屋七郎右衛門

寛政二年一〇月(許)

金屋富助

寛政五年正月(許)

鑄物師中

寛政二年一〇月〔座法〕〇

寛政三年一月〔座法〕〇

寛政四年一〇月〔天福元年牒〕

寛政一二年一月〔清涼殿燈籠調進書〕

文化二年一月〔座法〕

文化三年一月〔座法〕

西成郡下福島村

江川佐十郎 〔名〕・〔控〕・〔由〕

文化七年二月〔許〕

文政一三年三月〔許〕

天保九年八月〔許〕

安政二年一月〔許〕

西成郡上福島村

堀内平四郎 〔由〕

慶応二年三月〔許〕

島下郡福井村

〔谷山〕長右衛門 〔名〕

正徳四年〔許〕

元文四年四月〔許〕

〔谷山〕林右衛門 〔由〕

元龜三年〔真継久直判物〕

近世眞緒家配下鑄物師人名録(1)〔笹本〕

元文四年四月〔許〕

谷山増次郎 〔名〕・〔控〕・〔由〕

文政二年八月〔許〕

嘉永五年四月〔許〕

安政二年一月〔天福元年牒〕・〔曆応五年牒〕

安政四年四月〔許〕

〔谷山〕豊吉 〔名〕・〔控〕・〔由〕

嘉永四年一月〔許〕

塩田利右衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

安政二年六月〔許〕

安政二年一月〔天福元年牒〕・〔曆応五年牒〕

安政四年四月〔許〕

塩田徳三郎 〔控〕

安政四年四月〔許〕・〔天福元年牒〕

塩田清次郎 〔由〕

文久元年一〇月〔許〕

〔谷山〕龜次郎 〔名〕

杉本吉右衛門 〔由〕

正徳四年〔許〕

元文四年四月〔許〕

金屋治兵衛 〔牒〕

金屋長右衛門 〔牒〕

名古屋大学文学部研究論集(史学)

金屋庄兵衛 [牒]

金屋吉右衛門 [牒]

金屋勝助 [牒]

金屋林右衛門 [牒]

治平

元文四年二月(許)

島下郡田中村

西田伊三郎 [控]・[由]

安政二年一〇月(許)

島下郡安威村

(金屋) 勘兵衛 [牒]

元文四年九月(許)

八部郡兵庫永沢町

丹治勘左衛門 [牒]・[由]

仁安牒写

寛永一二年四月(口宣案)

享保四年(許)

享保一九年二月(許)

宝曆一一年一月(許)

丹治長兵衛 [名]・[控]・[牒]

享保四年(許)

丹治又兵衛

享保四年(許)

丹治吉左衛門 [牒]

享保四年(許)

丹治三郎兵衛

享保四年(許)

丹治金左衛門

享保四年(許)

丹治弥兵衛

享保四年(許)

丹治四郎三郎

享保四年(許)

丹治清十郎

享保四年(許)

丹治与次左衛門 [牒]

享保四年正月(許)

享保一九年正月(許) ○

丹治善右衛門 [名]・[控]・[由]

文政四年一月(許)

万延元年六月(許)

丹治常多郎

万延元年(許)

丹治長右衛門 [名]・[控]・[牒]・[由]

万延元年六月〔許〕

丹治八左衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

万延元年六月〔許〕

丹治弥惣兵衛 〔名〕・〔控〕・〔由〕

丹治文右衛門 〔牒〕

丹治三郎兵衛 〔牒〕

丹治金右衛門 〔牒〕

丹治弥三兵衛 〔牒〕

丹治伝右衛門 〔牒〕

丹治与平治 〔牒〕

鋳物師中

享保二年七月〔真継珍弘書〕

享保四年正月〔仁安二年牒〕

享保一九年二月〔真継矩弘証文〕

文政四年一月〔座法〕○・〔天福元年牒〕

河辺郡伊丹橋町

田端四郎左衛門 〔名〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

享保一九年一月〔許〕

宝曆四年後二月〔許〕

天保三年二月〔許〕・〔天福元年牒〕

豊島郡池田村

玉出平右衛門

近世真継家配下鋳物師人名録(1)〔笹本〕

寛延三年三月〔許〕

豊島郡池田中之町

森本伝右衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

文政一二年一二月〔許〕

天保五年八月〔許〕

金屋庄兵衛 〔控〕

金屋平右衛門 〔牒〕

有馬郡三田輪町

福井善兵衛 〔牒〕

享保一九年一〇月〔許〕

有馬庄右衛門 〔牒〕

享保一九年一〇月〔許〕

榎井長右衛門

享保一九年一〇月〔許〕

榎井七右衛門 〔牒〕

有馬郡三田南町

朝野重兵衛 〔由〕

明治二年三月〔許〕

能勢郡地黄広

仲下国蔵

万延二年正月〔許〕

伊賀国

伊賀郡依那具村

安永権兵衛

〔名〕・〔控〕・〔由〕

仁安牒写

延享三年(許)

宝曆四年(許)

明和八年(許)

天明三年(許)

文化一一年六月(許)

文化一二年二月(天福元年牒)

文化一二年四月(口宣案・藤原重登河内大掾)

弘化五年(許)

嘉永六年二月(許)

文久元年八月(許)

文久元年(燈籠献上受取書)

安永河内大掾(権兵衛)

文政一一年六月(許)

天保一〇年一〇月(曆応五年牒)

城出茂兵衛

〔牒〕

金屋治右衛門

〔牒〕

宝曆四年後二月(許)

儀兵衛

天明七年九月(許)

延享三月正月(許)

宝曆四年後二月(許)

明和八年正月(許)

天明三年六月(許)

天明七月九月(許)

治兵衛

延享四年六月(許)

天明三年六月(許)

橋本次郎右衛門

明和八年正月(許)

文化一一年六月(許)

文化一二年二月(天福元年牒)

橋本肥後大掾

文政一一年八月(許)

名張郡名張榊町

梅田甚右衛門

〔名〕

文化一一年一二月(許)

文政一一年八月(許)・(座法)○

名張郡名張横町

梅田伝吉

〔控〕・〔由〕

嘉永七年五月〔許〕○

名張郡長屋村

江南彦十郎〔由〕

文久元年七月〔許〕

名張郡藏持村

小林新七〔名〕

嘉永七年五月〔許〕

阿拝郡外山村

山路美之助〔名〕・〔控〕

天保一四年一二月〔許〕

伊勢国

桑名郡鍋屋町

広瀬九郎兵衛〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

元文五年正月〔許〕○

宝暦九年一月〔許〕○

明和八年四月〔許〕○

天明六年五月〔許〕○

寛政九年三月〔座法〕○

文化三年四月〔許〕○

広瀬長左衛門〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

元文五年正月〔許〕○

近世真継家配下鋳物師人名録(1)〔笹本〕

宝暦九年一月〔許〕○

明和八年四月〔許〕○

安永六年〔許〕

天明六年五月〔許〕○

寛政九年三月〔座法〕○

文化三年四月〔許〕○

文政八年二月〔天福二年牒〕

天保一三年三月〔許〕・〔座法〕

嘉永五年三月〔許〕・〔座法〕

慶応元年九月〔許〕・〔天福元年牒〕・〔座法〕

広瀬五郎兵衛

天明六年五月〔許〕

桑名郡桑名大瓦

辻内善四郎〔由〕

文久元年三月〔許〕・〔座法〕

安芸郡中山村

阿保市大夫〔名〕・〔姓〕・〔牒〕・〔由〕

天正六年三月〔口宣案・藤原朝臣助清右衛門尉〕

享保一八年四月〔許〕○

寛保三年一〇月〔座法〕○

宝暦四年五月〔許〕○

宝暦五年五月〔許〕○

天明七年正月(許) ○・(大)・(座法) ○

文政二年二月(天福元年牒)

文政一三年二月(許)

安政二年八月(許)

安政二年九月(口宣案・藤原顕信肥後大掾)

阿保肥後大掾(市大夫)〔名〕・〔控〕

安政二年一〇月(許)

飯野郡蛸路村

天命忠左衛門

〔牒〕

享保二〇年三月(許)

元龜二年一二月(某判物)

天正八年閏三月(正親町天皇女房奉書)

四月一〇日(抑原淳光女房奉書副書)

天正一五年四月(後陽成天皇女房奉書)

一二月五日(某判物)

八月一二日(某判物)

天正三年一二月(北畠具教判物)

七月二三日(某判物)

天明丈次郎

寛政六年一二月(許)

天明宗次郎

寛政一二年一二月(許)

村田兵右衛門

〔牒〕

享保二〇年三月(許) ○

大川忠兵衛

〔牒〕

享保二〇年三月(許)

宝曆四年六月(許)

長谷川次郎左衛門

〔牒〕

享保二〇年三月(許)

宝曆四年六月(許)

明和元年七月(許)

常保善四郎

〔牒〕・〔由〕

天正六年三月(口宣案・藤原朝臣助清右衛門)

享保二〇年三月(許)

元文三年四月(曆応二年牒)

宝曆四年六月(許)

宝曆七年五月(許)

天明五年五月(許)

文化一一年正月(許)・(天福元年牒)

文政一二年八月(許)

安政二年八月(許)

安政二年九月(口宣案・藤原清長河内大掾)

常保河内大掾(善四郎)〔名〕・〔控〕

安政二年九月(許)

鑄物師中

寛政六年二月(座法)○

朝明郡田光村

諸岡五郎左衛門

[牒]

享保二年三月(許)

元文元年二月(許)

宝曆七年二月(許)

寛政七年五月(許)

諸岡清十郎

享保二年三月(許)

諸岡太郎左衛門

[牒]

寛保四年正月(許)

宝曆七年二月(許)

寛政五年七月(許)

寛政七年正月(許)

諸岡藤三郎

[名]・[控]

文化元年八月(許)

天保六年二月(許)

諸岡六左衛門

文化元年一〇月(許)○・(座法)○

諸岡清五郎

[牒]

諸岡東藏

近世真継家配下鑄物師人名録(1)(笹本)

安政六年八月(許)

諸岡末藏

文化元年八月(許)

松永半左衛門

[牒]・[由]

元文二年八月(許)

慶応元年九月(許)

松永与兵衛

[牒]

元文二年八月(許)

松永与次兵衛

[牒]

元文二年八月(許)

松永清左衛門

[牒]

渡会郡田丸新田村

岡村松右衛門

[姓]・[由]

安政四年一月(許)

飯高郡鎌田村

惠川弥兵衛

[姓]

安政三年一月(許)

安濃郡津新東町

奥山金四郎

安永八年一月(許)

奥山金吾

[名]・[姓]・[控]・[由]

奥山建吾

[名]・[控]・[由]

名古屋大学文学部研究論集(史学)

安濃郡津鍋屋町

辻越後藤原種重

享保九年二月(許)○

辻勘兵衛

〔姓〕・〔控〕

元和八年七月(呼名許状・藤原家勝)

宝曆十一月一日(許)

天明七年三月(許)

辻弥四郎

〔姓〕・〔控〕

明和七年八月(許)

三重郡上鶴川原村

諸岡正右衛門

〔牒〕

元文二年二月(許)○

元文三年二月(許)

諸岡庄左衛門

〔姓〕

三重郡南五味塚村

加田嘉兵衛

〔姓〕・〔牒〕

享保二年二月(許)

加田喜増兵衛

〔牒〕

加田喜四郎

宝曆四年三月(許)

文政二年後四月(許)

尾張国

愛知郡名古屋

水野太郎左衛門

〔由〕

御牒

御藏下知状

永禄五年二月(織田信長判物)

元龟二年六月(織田信長朱印状)

天正二年正月(織田信重判物)

天正一〇年七月(織田信雄定書)

天正一〇年七月(織田信雄判物)

天正一五年五月(織田信雄判物)

天正一八年一月(田中吉政判物)

天正二〇年正月(三好吉房判物)

慶長三年一月(福島正則判物)

慶長七年一二月(平岩親吉判物)

知多郡久米村

片山茂兵衛

〔名〕・〔控〕・〔由〕

天保九年五月(許)

天保一五年六月(許)

三河國

宝飯郡牛久保北金屋村

中尾惣左衛門〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

享保一八年正月〔許〕○・〔天福元年牒〕○

享保一九年六月〔許〕

宝曆四年一〇月〔許〕

天明五年九月〔許〕・〔天福元年牒〕

寛政九年三月〔許〕

文化四年一月〔許〕

文化七年二月〔許〕

天保三年三月〔許〕

天保一五年正月〔許〕

安政五年一月〔許〕

安政五年一二月〔許〕

中尾与惣次〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

仁安二年一月牒写

暦応五年四月牒写

享保一八年正月〔許〕

享保一九年六月〔許〕

天明五年〔許〕

天保二年八月〔許〕

中尾重右衛門〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕

天文七年一二月〔助九郎宛牧野保成判物〕

永禄元年三月〔口宣案・藤原朝臣宗久三河目〕

寛延三年六月〔許〕

天明五年〔許〕

文政一三年一月〔許〕

天保二年四月〔許〕

天保三年一月〔許〕

安政四年一月〔許〕

万延元年〔許〕

文久二年一月〔許〕

明治二年八月〔許〕

中尾重郎〔重右衛門〕〔由〕

中尾太兵衛〔牒〕

享保一八年正月〔許〕

享保一九年六月〔許〕

鑄物師中

寛永五年七月〔真継康利判物〕

寛永六年一〇月〔御蔵源太夫判物〕

享保一八年〔暦応五年牒〕・〔御印封〕

享保一九年〔宮内大丞代替御書〕

宝曆四年〔條目〕

名古屋大学文学部研究論集(史学)

天明五年(座法)

文化四年八月(仁安二年牒)

幡豆郡平坂

太田庄兵衛

〔名〕・〔控〕

仁安二年牒写

天福元年十一月牒写

曆応五年牒写

寛政二年十一月(清涼殿燈籠調進書)

文化五年後六月(許)・(仁安二年牒)・(天福元年牒)・(座法)

文化五年十一月(寛永二年御教書)・(曆応五年牒)

文化一三年一〇月(曆応五年牒)

安政四年五月(許)・(座法)

太田庄藏(庄兵衛)〔由〕

太田甚兵衛 〔名〕・〔控〕・〔由〕

文化五年後六月(許)・(仁安二年牒)・(天福元年牒)

文化一三年一〇月(曆応五年牒)

額田郡岡崎祐金町

木村九兵衛

〔名〕・〔控〕

文化五年後六月(許)・(仁安二年牒)・(天福元年牒)

天保五年六月(許)・(座法)・(増鏡許状)

安政三年六月(許)

安政三年八月(許)

木村善助(九兵衛)〔由〕

木村重右衛門

文化五年後六月(許)・(仁安二年牒)・(天福元年牒)

木村惣兵衛

〔名〕

天保五年六月(許)

安藤金右衛門

〔名〕・〔控〕・〔由〕

文和三年八月(將軍下文)

天文二四年五月(徳川家康家臣連署判物)

文政元年七月(許)・(座法)

碧海郡大浜村

国松重兵衛

〔名〕・〔控〕・〔由〕

安永九年五月(許)・(仁安二年牒)

天明三年三月(許)

寛政二年十一月(清涼殿燈籠調進書)

文化五年十一月(座法)・(許)・(仁安二年牒)・(天福元年牒)

牒)

文化一三年一〇月(曆応五年牒)

文政七年正月(許)

安政三年八月(座法)

文久元年一〇月(許)・(座法)

東加茂郡足助村

太助

文久三年七月（入館許可書）

遠江国

周智郡森金屋

山田七郎左衛門

曆応五年四月牒

天正一五年正月（徳川家康朱印状）

一二月九日（徳川家康黒印状）

天正一九年一月（福岡忠勝判物）

慶長二年二月（青木惣兵衛・横崎門七連署状）

亥年一月一日（小栗忠吉手形）

亥年一月二七日（酒井家次手形）

宝曆一一年一月（許）

寛政一〇年二月（申渡）

文政五年二月（座法）

駿河国

庵原郡江尻町

山田六郎右衛門

〔牒〕・〔由〕

慶長一九年四月（口宣案・藤原権秀若狭小掾）

享保一七年六月（許）・（天福元年牒）

享保二〇年三月（許）

近世眞継家配下鋳物師人名録(1)（征本）

山田九郎左衛門 〔由〕

御蔵下知状

甲斐国

山梨郡新青沼町

雨宮十左衛門

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

寛延三年一〇月（許）○

宝曆四年六月（許）○

宝曆四年七月（天正座法）○・〔大〕

寛政四年三月（許）○・（天福元年牒）・（座法）

寛政一〇年二月（申渡）

文政六年七月（天福元年牒）・〔大〕

天保四年五月（許）

元治二年四月（許）

雨宮重次郎

〔牒〕

寛延四年後六月（許）○

宝曆九年七月（許）○

沼上治左衛門

〔姓〕・〔控〕・〔由〕

延享四年一〇月（許）○

寛延四年三月（許）○・（仁安二年牒）○

文化三年二月（許）○・（曆応五年牒）

文化一二年六月（八朔請状）

名古屋大学文学部研究論集(史学)

嘉永六年七月(許)

明治二年七月(許)

沼上源藏 [名]・[姓]・[控]・[牒]・[由]

延享四年二月(許)○

宝曆五年九月(許)○

明和三年六月(大)○

寛政四年三月(天福元年牒)○・(許)○

寛政一〇年二月(許)

天保四年三月(許)

元治二年四月(許)

沼上久右衛門 [由]

文久元年八月(許)

元治二年四月(許)

沼上治兵衛 [名]

沼上岩次郎 [牒]

沼上弥平次 [牒]

山田定四郎

寛政四年三月(許)

鑄物師中

宝曆四年六月(定書)○

文化三年二月(曆応五年牒)

都留郡新田村

足立惣左衛門 [名]・[姓]・[控]・[由]

寛政四年六月(座法)○・(仁安二年牒)・(許)

寛政一〇年二月(申渡)

天保四年二月(座法)・(許)

足立六右衛門

文化五年二月(許)

文化五年一〇月(座法)

伊豆國

君沢郡三島河原谷

沼上忠左衛門 [姓]・[牒]・[由]

宝曆五年二月(許)

寛政五年二月(許)

齊藤源七 [姓]・[牒]・[由]

大永七年一月(後北条氏印判状)○

享祿三年六月(笠原・清水連署状)○

天文元年三月(後北条氏伝馬朱印状)○

永祿一二年八月(後北条氏印判状)○

卯年十一月九日(後北条氏印判状)○

己年九月一七日(後北条氏印判状)○

十一月一〇日(上野判物)○

寛政五年(許)

君沢郡三島金屋町

山本八右衛門〔由〕

曆応五年牒写

御蔵下知状

文化五年後六月〔許〕

相模国

足柄下郡小田原新宿町

山田次郎左衛門

永禄一二年七月〔後北条氏印判状〕○

元亀元年一二月〔北条氏康印判状〕

酉年八月一〇日〔後北条氏印判状〕

天正一四年二月〔後北条氏伝馬手形〕

天正一四年七月〔後北条氏印判状〕○

天正一五年九月〔後北条氏伝馬手形〕○

天正一六年正月〔後北条氏伝馬手形〕○

天正一七年一二月〔後北条氏印判状〕

寛保二年二月〔許〕○

宝曆四年六月〔許〕

安永三年一二月〔許〕

安永四年四月〔定書〕

文政一三年八月〔許〕

近世真継家配下鑄物師人名録(1)〔笹本〕

安政五年五月〔許〕

永瀬藤助〔牒〕

安永四年八月〔許〕

山崎与次右衛門

寛保二年二月〔許〕

山崎与治兵衛〔牒〕

佐藤与治左衛門〔由〕

安政六年正月〔許〕

山口藤助

安永三年一二月〔許〕

愛甲郡荻野村

木村平八郎〔名〕・〔控〕・〔由〕

御蔵下知状

安政六年正月〔許〕

慶応元年一二月〔許〕

木村平十郎

文化四年正月〔許〕

愛甲郡及川村

佐藤久米次郎〔名〕・〔控〕

文化一五年正月〔許〕

文政一三年八月〔許〕○・〔曆応五年牒〕○

武蔵国

江戸麴町五丁目

椎名平蔵

[姓]・[牒]

足立郡川口宿

永瀬利右衛門

[名]・[姓]・[控]・[由]

安永四年三月(許)

天明五年一月(許)

安政四年二月(許)

永瀬文左衛門

[名]・[姓]・[控]・[由]

安永四年三月(許)

永瀬源内

[名]・[姓]・[控]・[由]

天明五年一月(許)

安政四年二月(許)

永瀬金太郎

[名]・[姓]・[控]

天明七年一〇月(許)

永瀬半蔵

[名]・[控]・[由]

天保四年一月(許)

安政四年二月(許)○

永瀬嘉右衛門

[名]・[控]・[由]

天保四年一月(許)

安政四年二月(許)

永瀬卯之七

[名]・[控]・[由]

天保四年一月(許)

永瀬長右衛門

[名]・[控]・[由]

天保四年一月(許)

安政四年二月(許)

永瀬嘉一郎

[控]・[由]

安政四年二月(許)

永瀬源助

[控]

永瀬源七

[控]・[由]

安政四年二月(許)

永瀬七郎左衛門

[控]・[由]

安政四年二月(許)

小林源助

[名]・[控]・[由]

天保四年一月(許)

岡本音次郎

[名]・[控]・[由]

天保四年一月(許)

安政四年二月(許)

大西市五郎

[名]・[控]・[由]

天保四年一月(許)

安政四年二月(許)

大西周八

[控]・[由]

安政四年二月(許)

岡本益次郎 [控]

浜田惣右衛門 [控]・[由]

安政四年二月(許)

増田金太郎

安政四年二月(許)

増田安次郎 [控]・[由]

安政四年二月(許)・(座法)○

明治二年二月(許)

増田重太郎 [由]

安政四年二月(許)

小川伝之助 [控]・[由]

安政四年二月(許)

小川三左衛門 [控]・[由]

安政四年二月(許)

岩田庄助 [控]・[由]

安政四年二月(許)

大川文左衛門 [控]・[牒]

宝曆一三年四月(許)

天明五年正月(仁安二年牒)

大川治郎右衛門 [控]・[牒]

宝曆一三年四月(許)

大川利右衛門 [控]・[牒]

宝曆一三年四月(許)

大川儀左衛門 [控]

宝曆一三年四月(許)

大川茂右衛門 [牒]

児玉郡八幡金屋村

倉林治兵衛 [名]・[姓]・[控]・[由]

天福元年一月牒写

建曆三年一月牒写

天明六年二月(許)

寛政七年正月(許)・(大)・(建曆三年牒)

文化三年正月(許)

嘉永七年一月(許)

倉林太郎兵衛 [名]・[姓]・[控]・[由]

寛政元年二月(許)

寛政七年正月(許)・(大)・(建曆三年牒)

文化三年二月(許)

嘉永三年正月(許)

嘉永七年一〇月(許)

倉林半右衛門 [姓]

天明六年二月(許)

寛政七年正月(大)・(許)・(建曆三年牒)

近世真継家配下鑄物師人名録(1)(笹本)

文化三年二月〔許〕

秩父郡奥沢村

倉林弥右衛門〔姓〕

足立弥兵衛〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

天明二年二月〔許〕

寛政七年正月〔許〕○・〔仁安二年牒〕○・〔座法〕○

天明六年二月〔許〕

文化一四年一〇月〔許〕

文化三年二月〔許〕

天保三年正月〔許〕

中林庄右衛門〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

安政六年正月〔許〕

天福元年一月牒写

比企郡上小用郷大豆戸村

安永一〇年二月〔許〕

宮崎柳七〔名〕・〔控〕・〔由〕

天明六年二月〔許〕

文政一三年八月〔許〕

文化三年二月〔許〕

安政六年正月〔許〕

文久元年九月〔許〕・〔小工取締〕

多摩郡上横川村

中林由右衛門〔姓〕・〔由〕

加藤勘兵衛〔名〕・〔控〕・〔由〕

仁安二年正月牒写

文政一三年八月〔許〕

建曆牒写

安政六年正月〔許〕

天明六年二月〔許〕

多摩郡谷保村

文化三年二月〔許〕

関忠蔵〔名〕・〔控〕・〔由〕

中林伴右衛門〔姓〕

文政一三年八月〔許〕

鋳物師中

安政六年正月〔許〕

天明六年二月〔仁安二年牒〕

多摩郡八王子宿

寛政八年正月〔座法〕

師岡忠輔〔名〕・〔控〕・〔由〕

文化四年二月〔座法〕

文政一三年八月〔許〕

文化五年六月〔天福元年牒〕・〔由緒〕

安政六年正月〔許〕

入間郡河越東明寺村

矢沢四郎左衛門 [名]・[控]・[由]

文政一三年八月(許)

安政六年正月(許)

入間郡小久保村

小川五郎左衛門 [姓]・[控]・[由]

安政六年正月(許)

橘樹郡溝口村

田中清兵衛 [控]・[由]

安政六年正月(許)

豊島郡稻付村

小田部覚兵衛

天明六年四月(呼名許狀)○

小田部孫三郎

天明六年四月(許)○

小田部六右衛門

天明七年二月(許)

鑄物師中

天明六年四月(座法)○

安房国

長狭郡古畑村

近世真継家配下鑄物師人名録(1)(笹本)

石原権兵衛

安永四年三月(許)

朝夷郡丸本郷村

安田源右衛門 [控]・[由]

万延元年二月(許)

上総国

長柄郡茂原宿

石原善兵衛 [名]・[姓]・[控]・[由]

安永四年三月(許)

石原金治 [控]

文化四年四月(許)

長柄郡高師村

永瀬七左衛門正次 [控]・[由]

安政六年一〇月(許)

市原郡牛保村

宇佐五郎兵衛 [名]・[控]・[由]

寛政一〇年二月(許)

安政六年一〇月(許)

望陀郡矢那村

小田部五郎左衛門 [名]・[姓]・[控]

安永四年三月(許)

大野五郎左衛門〔由〕

安政六年一〇月〔許〕

万延元年五月〔由〕

大野桂太郎嘉雅〔控〕・〔由〕

安政六年一〇月〔許〕

望陀郡貝淵村

小倉伝藏〔名〕・〔控〕・〔由〕

文政一三年四月〔許〕

安政六年一〇月〔許〕

下総国

葛飾郡流山加村

堤利右衛門〔控〕・〔由〕

常陸国

真壁郡田村

大川助左衛門

安永三年二月〔許〕

小田部助左衛門〔名〕・〔控〕・〔由〕

天福元年牒本紙

天正六年三月(口宣案・藤原朝臣吉久彦左衛門尉)

慶長一二年(勅印本紙)

安永四年三月〔許〕・〔大〕

天明六年三月〔許〕・〔大〕

寛政三年二月〔許〕

文化六年三月(天福元年牒)

文化一一年六月(天福元年牒)

弘化二年七月〔許〕

弘化二年八月(口宣案・藤原胤友常陸大掾)

弘化二年九月(座法)

安政六年正月〔許〕

万延元年閏三月〔許〕

小田部助右衛門〔姓〕・〔由〕

小田部庄右衛門〔名〕・〔姓〕・〔由〕

寛政三年二月〔許〕

弘化四年八月(口宣案・藤原盈益河内大掾)

小田部三郎兵衛〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

寛政三年二月〔許〕

小田部河内大掾〔名〕・〔控〕

文久元年五月〔許〕

小田部三右衛門〔名〕・〔控〕・〔由〕

文化六年二月〔許〕

天保一四年八月〔許〕○

安政六年正月〔許〕

小田部三兵衛

安政六年一〇月〔許〕

小田部榮藏

〔名〕・〔控〕・〔由〕

安政四年一二月〔許〕○

鑄物師中

寛政七年二月〔建曆二年牒〕

寛政一〇年二月〔天福元年牒〕

鹿島郡大和田村

井川善右衛門

〔名〕・〔控〕・〔由〕

文化六年二月〔許〕

新治郡真鍋村

伊藤弥助

〔控〕・〔由〕

万延元年一二月〔許〕

近江國

栗太郡辻村

太田角兵衛

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

曆心五年牒写

御藏下知状

文化三年二月〔許〕・〔天福元年牒〕

安政五年九月〔許〕

太田伝兵衛

〔名〕・〔控〕・〔由〕

近世眞継家配下鑄物師人名録(1)〔笹本〕

文化五年一月〔許〕

文化六年二月〔許〕・〔仁安二年牒〕

太田三郎兵衛

〔名〕・〔控〕・〔由〕

文化七年二月〔許〕・〔仁安二年牒〕・〔天福元年牒〕

太田伊三郎

〔控〕

安政四年五月〔許〕

太田甚之助

〔由〕

安政四年五月〔許〕

高谷忠兵衛

〔名〕・〔控〕・〔由〕

享保一二年七月〔曆心五年牒〕○

寛政一二年〔旧書写〕○

鑄物師中

享保一二年七月〔許〕

栗太郡梅木村

島林八郎兵衛

〔由〕

栗太郡高野庄久保村

利左衛門

〔由〕

安政六年九月〔許〕

慶応三年八月〔許〕

重左衛門

〔由〕

安政六年九月〔許〕

慶応三年八月〔許〕

滋賀郡鰐南浜村

孫子六右衛門 [名]・[姓]・[控]・[牒]・[由]

享保一〇年正月(許)

享保一八年九月(許)

天明三年八月(許)

孫子吉兵衛 [名]・[姓]

享保一〇年正月(許)

享保一八年九月(許)

天明三年八月(許)

孫子吉右衛門

享保一〇年正月(許)

享保一八年九月(許)

天明三年八月(許)

孫子次郎兵衛 [名]・[姓]・[牒]

享保一〇年正月(許)

享保一八年九月(許)

天明三年八月(許)

文政一〇年八月(許)

孫子次良右衛門

享保一〇年正月(許)

享保一八年九月(許)

宝曆四年三月(許)

明和七年八月(許)

天明三年八月(許)・(大)

文化二年八月(許)

孫子伊左衛門 [名]・[控]・[牒]・[由]

享保一〇年正月(許)

享保一八年九月(許)

天明三年八月(許)

孫子左右衛門

文化八年六月(許)

孫子吉郎兵衛 [名]・[控]・[由]

天保一〇年八月(許)

孫子次兵衛 [控]・[由]

安政三年八月(許)

孫子平三郎 [名]・[控]・[由]

孫子佐助 [名]・[控]・[由]

孫子佐兵衛 [姓]・[牒]・[由]

孫子伴左衛門 [姓]

孫子治右衛門 [牒]

鑄物師中

安永七年後七月(曆応五年牒)・(天福元年牒)

天明八年六月(曆応五年牒)

安政四年八月(座法)

滋賀郡納村

助左衛門

〔由〕

御藏下知状

甲賀郡寺庄村

北川四郎兵衛

享保一一年三月〔許〕○・〔呼名許状〕

享保一七年一〇月〔許〕○

享保一九年四月〔許〕

元文元年五月〔天福元年牒〕

望月四郎兵衛

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

宝徳三年鑄物師請文写

仁安二年一月牒写

天福元年一月牒写

曆応五年四月牒写

永禄元年一月九日上納受取書

永禄三年旧書

天正四年八月座法写

享保一一年三月〔許〕・〔大〕・〔口宣案・若狭藤原安貞〕・

〔仁安二年牒〕

享保一四年〔新職停止書付〕

享保一七年〔許〕

享保一八年〔許〕

享保一九年四月〔許〕

宝暦四年六月〔許〕・〔定書〕○

宝暦一二年二月〔許〕

明和七年八月〔許〕・〔定書〕○

天明五年正月〔許〕○

寛政二年一月〔清涼殿燈籠調進書〕

寛政三年一〇月〔定書〕○

寛政九年三月〔申渡〕○

文化二年八月〔許〕・〔清涼殿燈籠調進書〕

安政二年一月〔許〕・〔清涼殿燈籠調進書〕

安政三年三月〔許〕

安政六年三月〔許〕・〔座法〕

文久元年五月〔天福元年牒〕

蒲生郡八幡多賀村

望月六兵衛 〔名〕・〔控〕・〔由〕

仁安二年一月牒写

天福元年一月牒写

曆応五年四月牒写

元禄元年〔許〕

寛政二年一二月〔清涼殿燈籠調進書〕

文化五年〔座法〕・〔天福元年牒〕

天保九年六月〔許〕・〔座法〕

名古屋大学文学部研究論集(史学)

安政二年一月(許)・(清涼殿燈籠調進書)

安政三年三月(許)・(座法)

国松伊兵衛

〔姓〕

文化三年九月(許)・(曆応五年牒)

文化五年一月(仁安二年牒)・(天福元年牒)

蒲生郡八日市金屋村

七郎左衛門

天文二三年九月二七日(御倉民部丞裏菊紋許可判物)

堤小四郎

安永七年六月(許)・(天福元年牒)

堤善左衛門

〔牒〕・〔由〕

天福元年一月牒

釜屋善兵衛

〔牒〕・〔由〕

片桐且元書状

御藏下知状

田中武助

〔名〕・〔控〕・〔由〕

松吉佐兵衛

〔名〕・〔控〕・〔由〕

田中瀬兵衛

〔名〕・〔控〕・〔由〕

田中佐兵衛

〔名〕・〔控〕・〔由〕

北岡伝五郎

〔名〕・〔控〕・〔由〕

北沢長九郎

〔名〕・〔控〕・〔由〕

北沢金右衛門

〔名〕・〔控〕・〔由〕

松吉助市

〔名〕・〔控〕・〔由〕

金屋伝六

〔牒〕

金屋仁兵衛

〔牒〕

鑄物師窓中

慶長一九年三月(片桐且元判物)

寛文九年六月(御倉宮内丞玄弘判物)

正徳五年七月(許)

享保三年一月(許)

享保一九年二月(許)

宝曆四年後二月(許)

安永四年一月(許)

安永八年一月(天福元年牒)

蒲生郡日野村

富田久兵衛

〔由〕

御藏下知状

享保九年二月(許)○

享保一九年九月(許)

享保一九年二月(許)

寛延二年三月(許)

宝曆一一年八月(許)

安永一〇年三月(許)

天明四年三月(許)

坂田郡長浜北金屋

西川長左衛門 [名]・[控]・[由]

御藏下知状

宝曆八年三月(許)

天明五年六月(許)

西川甚左衛門 [名]・[控]・[由]

文化九年二月(許)

天保五年一〇月(許)

坂田郡小田村

沢田留次郎 [控]・[由]

安政三年三月(許)

沢田多治助

安政四年一月(許)

坂田郡大久保村

由兵衛(小工) [由]

坂田郡中経町

高谷津右衛門

文化八年後二月(許)

坂田郡大野木村

島林儀右衛門 [由]

神崎郡三俣村

徳田七郎兵衛 [名]・[控]

近世真継家配下鋳物師人名録(1)(笹本)

嘉永三年正月(許)

西沢弥治右衛門 [由]

嘉永三年正月(許)

慶応二年正月(許)

高島郡宮野村

関助左衛門 [由]

御藏下知状焼失

正徳四年一月(許)

享保一三年八月(許)○

享保一九年九月(許)○

宝曆四年六月(許)○・(定書)○

釜屋与次兵衛

享保一九年正月(許)

宝曆四年四月(許)

明和八年三月(許)

釜屋三右衛門 [姓]

享保一九年正月(許)

宝曆四年四月(許)

明和八年三月(許)

天明三年六月(許)

白井惣左衛門 [名]・[控]・[由]

建曆三年一月牒本紙

名古屋大学文学部研究論集(史学)

嘉永五年二月(許)

釜屋三郎

天明三年(座法)○

犬上郡古沢村

美作吉(小工)

安政六年六月(入館許可書)

犬上郡野瀬村

儀右衛門(小工)

安政六年六月(入館許可書)

浅井郡平塚村

国三郎(小工)

安政六年九月(入館許可書)

美濃国

厚美郡岐阜小熊村

岡本市郎次

〔名〕・〔牒〕・〔由〕

寛延二年九月(許)

宝曆四年三月(許)

文化一二年六月(許)

天保一〇年六月(許)

安政三年一月(許)

慶応四年五月(許)

岡本伊右衛門

〔名〕・〔姓〕・〔牒〕・〔由〕

寛延二年九月(許)

宝曆四年五月(許)

岡本河内大掾

宝曆四年三月(許)

岡本太郎右衛門

〔名〕・〔姓〕・〔牒〕・〔由〕

岡本嘉藏

〔名〕・〔由〕

文化一〇年九月(許)

岡本安次郎

〔名〕

文化一〇年九月(許)

安政四年八月(許)

岡本金左衛門

〔名〕・〔牒〕・〔由〕

岡本安五郎

〔控〕・〔由〕

安政四年八月(許)

岡本太右衛門

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

寛延二年九月(許)

宝曆四年五月(許)

天明五年二月(仁安二年牒)

文化一二年二月(許)

文化一二年六月(座法)・(天福元年牒)

文政一三年三月(曆応五年牒)

天保一五年五月(許)

安政四年一月(座法)・(許)

明治三年七月(許)

大谷八郎左衛門

仁安二年牒

織田信長黒印状

御蔵下知状

大谷八郎右衛門

慶長五年正月(口宣案・和泉守宗勝)

鍋屋町

寛保三年一月(座法)○

文化三年四月(座法)○

厚見郡岐阜東

稲葉大郎左衛門

御蔵下知状

本巢郡山口村

名和惣八

〔牒〕・〔由〕

明和四年九月(許)

文化五年三月(許)

名和孫右衛門

〔名〕

天保四年三月(許)

国枝勘右衛門

〔牒〕

明和四年九月(許)

近世真継家配下鋳物師人名録(1)(笹本)

国枝弥三郎 〔名〕

文化三年五月(許)

文化五年三月(許)

国枝六右衛門 〔名〕

天保四年三月(許)

国枝伊右衛門 〔控〕・〔由〕

安政三年八月(許)

安政四年六月(由緒)

安政四年八月(許)・(天福元年牒)

竹中藤七 〔名〕・〔控〕・〔由〕

安政三年一月(許)

安政四年六月(由緒)

安政四年八月(許)・(天福元年牒)

竹中久藏 〔名〕

文化五年五月(許)

天保四年三月(許)

鋳物師中

明和四年九月(天福元年牒)

文化五年三月(座法)

羽栗郡徳田新田村

田中五兵衛 〔名〕

文化七年二月(許)・(仁安二年牒)・(天福元年牒)

名古屋大学文学部研究論集(史学)

文化一四年五月(許)

田中兵藏 [名]・[控]・[由]

天保一四年二月(許)

安政三年八月(許)・(座法)

安八郡神戸村

太田吉兵衛

寛政一二年六月(許)

太田五兵衛

寛政一二年六月(許)

安八郡大垣竹島町

田中清左衛門 [名]・[控]・[由]

享保三年正月(許)○・(定書)○

弘化二年二月(許)

安政三年九月(許)○

方県郡一日市場村

池畑善右衛門

文化九年八月(許)

大野郡大月村

高田善弥 [名]・[控]・[由]

嘉永五年後二月(許)

加茂郡鑄物師屋村

伊佐地喜左衛門

天明二年二月(許)

天明三年五月(許)

石津郡多良上原村

栗田彦太郎 [名]

飛驒国

大野郡石浦村

津田長九郎 [姓]・[由]

享和四年正月(許)○・(曆応五年牒)・(座法)○

文化五年二月(許)

信濃国

筑摩郡松本飯田町

田中伝右衛門 [名]・[姓]・[控]・[牒]・[由]

曆応五年四月牒本紙

仁安二年一月牒写

建曆三年一月牒写

天福元年一月牒写

天文二年三月宣旨

天文三年正月御藏判物

天正四年八月座法

享保二〇年三月(許)

享保二十一年三月(許)

元文五年十二月(許)

宝曆四年三月(許)

明和二年二月(建曆二年牒)

明和三年五月(許)

明和五年四月(許)

明和九年五月(許)

明和九年六月(申渡)○

安永二年一〇月(許)○・(申渡)○

天明五年五月(許)・(大)

寛政六年六月(仁安二年牒)・(大)

寛政六年一〇月(天文二年三月宣旨)

安政六年六月(許)

田中伝三郎 [牒]

明和九年五月(許)

田中才兵衛

安政六年六月(許)・(天福元年牒)

浜伊右衛門 [名]・[控]・[牒]・[由]

享保二〇年五月(許)○

宝曆五年四月(許)

明和五年四月(許)

明和七年閏六月(許)○

近世眞継家配下鑄物師人名録(1)(笹本)

安永二年一〇月(口宣案・清綱石見)○

安政五年九月(許)

慶応三年二月(許)

浜石見掾

安永四年六月(申渡)○

天明七年九月(許)・(大)・(座法)○

天明七年一〇月(仁安二年牒)

寛政六年五月(建曆三年牒)

寛政六年閏一月(座法)

文化三年二月(許)

安政二年一〇月(申渡)○

浜源太郎 [牒]

宝曆五年四月(許)○

明和五年四月(許)○・(申渡)○

安政二年一〇月(申渡)

浜三郎右衛門

天明七年九月(許)

小泉郡上田

半田八郎右衛門 [名]・[姓]・[控]・[牒]・[由]

天福元年一月牒写

明和八年六月(許)

明和九年二月(許)・(大)

安永一〇年三月(許)・(大)

天明三年二月(大)○

寛政六年六月(許)・(大)・(建曆三年牒)

寛政八年三月(仁安二年牒)

文政七年二月(許)・(大)

元治二年四月(許)

小島久兵衛

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

天文二年三月宣旨

正親町院御宇五月二八日權少弁より日野中納言宛書状

天福元年十一月牒写

明和六年六月(許)

明和八年六月(許)○

寛政六年六月(許)・(大)・(座法)

寛政一〇年二月(申渡)

文政一三年二月(許)・(天福元年牒)

元治元年二月(許)

元治二年四月(許)

小島大次郎

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕

明和八年六月(許)

寛政六年六月(大)

元治二年四月(許)

小島佐門太

〔由〕

諏訪郡上諏訪角間

小島佐市郎

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

宝曆四年(申渡)

明和四年九月(許)・(大)

明和八年四月(許)・(申渡)

寛政六年(許)・(天正中座法)・(大)

寛政九年(申渡)

弘化二年(許)

安政五年五月(許)

高井郡須坂町

宮島又市

〔牒〕

元文元年六月(許)

寛政七年二月(許)

宮島平次

寛政七年二月(許)

高井郡村山村

金山平右衛門

〔名〕・〔控〕・〔由〕

仁安二年十一月牒写

文化五年一二月(許)

安政四年四月(許)

水内郡善光寺西町

伊藤文右衛門

明和八年六月〔許〕

寛政六年六月〔許〕

寛政七年四月〔許〕

伊藤又兵衛 〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

慶応二年八月〔許〕

水内郡南郷村

宮沢嘉藤次 〔名〕・〔控〕・〔由〕

仁安二年一月牒写

文化五年二月〔許〕

安政四年四月〔許〕

宮沢弾右衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

仁安二年一月牒写

文化五年二月〔許〕

安政四年四月〔許〕

水上市右衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

佐久郡入沢村

山形孫平次

寛政七年二月〔許〕

山形孫平太

佐久郡岩村田

大主伝左衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

寛政一〇年三月〔許〕

近世眞継家配下鋳物師人名録(1)〔笹本〕

嘉永四年七月〔許〕

嘉永六年三月〔許〕

安政四年一〇月〔許〕

伊那郡飯田伝馬町

上柳喜右衛門

文政一三年五月〔許〕

嘉永六年一〇月〔許〕

慶応三年三月〔許〕

伊那郡高遠

田中才兵衛

天福元年牒写

天明五年〔許〕

安政六年六月〔許〕

更級郡屋代村

浜三郎右衛門

天明七年九月〔許〕

更級郡八幡村

天明八年五月〔仁安二年牒〕

南沢吉太郎

文化一三年五月〔許〕

〔名〕・〔控〕・〔由〕

上野国

吾妻郡原町

小島七左衛門

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

安永四年三月〔許〕

天明二年正月〔許〕

天明六年二月〔許〕

寛政八年九月〔大〕

享和元年二月〔許〕

文化二年七月〔許〕

天保三年三月〔許〕

小島長五郎

文化四年二月〔許〕

小沼善右衛門

安永四年三月〔許〕

群馬郡上新田村

倉林弥平次

天明二年正月〔許〕・〔仁安二年牒〕○

倉林儀左衛門

〔名〕・〔姓〕・〔由〕

天明二年正月〔仁安二年牒〕○

天明四年正月〔許〕

文化二年七月〔許〕

文化一四年一〇月〔許〕

安政三年九月〔許〕

倉林森右衛門

〔名〕・〔姓〕・〔由〕

天明四年正月〔大〕・〔仁安二年牒〕

文化二年七月〔許〕

安政三年一〇月〔許〕

中村甚兵衛

〔姓〕

天明二年正月〔許〕

文化二年七月〔許〕

群馬郡高崎袋場下並覆村

小島弥兵衛

〔名〕・〔控〕・〔由〕

安政二年五月〔許〕

小島治兵衛

文化九年八月〔許〕

群馬郡白井吹屋村

太田与右衛門

安永四年六月〔許〕

太田与左衛門

安永四年六月〔許〕

太田作左衛門

〔姓〕

天明六年二月〔許〕・〔仁安二年牒〕○

文化二年七月〔許〕

小沢(太田) 作左衛門〔名〕・〔控〕

天保三年三月(許)

弘化四年九月(許)

太田七左衛門 〔姓〕

天明六年二月(許)

文化二年七月(許)

小沢(太田) 七左衛門〔名〕・〔控〕・〔由〕

天保三年三月(許)

小沢市右衛門 〔由〕

安政三年九月(許)

倉林嘉右衛門

天明二年正月(仁安二年牒) ○

甘樂郡下仁田村

太田長左衛門 〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

安永四年二月(許)

天明二年正月(許)

天明四年正月(許) ○・(座法) ○

天明六年二月(許)

寛政三年正月(仁安二年牒) ○

太田七郎左衛門

天明四年正月(許)・(大)

太田長右衛門

近世眞継家配下鑄物師人名録(1)(笹本)

安永四年二月(許)

中林甚兵衛

天明二年正月(許)

甘樂郡下丹生村

太田半兵衛

天明六年二月(許)

天保六年二月(許)

嘉永五年七月(許)

邑樂郡館林塚場町

清水常蔵

〔名〕・〔控〕・〔由〕

天保一五年正月(許)

那波郡仙石村

太田武兵衛

天明六年五月(許)

下野国

安蘇郡佐野天明

大谷権右衛門

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

安永三年二月(許)

安永四年六月(許)

大谷与四郎

〔牒〕

安永三年一月(許)

大谷庄右衛門 〔牒〕

安永三年一月(許)

大谷甚右衛門

安永五年二月(許)

大谷庄次郎 〔控〕・〔由〕

安政四年六月(許)

太田忠兵衛 〔牒〕

安永三年一月(許)

太田伝兵衛 〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

天正一〇年八月(口宣案・藤原秀治和泉守)

安永三年一月(許)

天明六年五月(許)

安政四年六月(許)

太田又兵衛

安永三年一月(許)

太田権左衛門 〔牒〕

安永三年一月(許)

天明六年五月(許)

太田権右衛門 〔牒〕

天明六年五月(許)

太田庄左衛門

安永三年一月(許)

太田庄右衛門 〔牒〕

太田伊左衛門 〔名〕・〔姓〕・〔控〕

安永五年二月(許)

天明六年五月(許)

太田伊右衛門 〔由〕

文政七年三月(許)

安政四年六月(許)

太田安兵衛

天明六年五月(許)

太田猪左衛門

安政四年六月(許)

太田五郎兵衛 〔名〕・〔由〕

江田孫四郎

安永五年二月(許)

正田又右衛門 〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

安永三年一月(許)

天明六年五月(許)

安政四年六月(許)

正田次郎右衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

安永五年六月(許)

天明六年五月(許)

文化五年三月(許)

安政四年六月〔許〕

安政六年八月〔許〕

万延元年七月〔許〕

正田利右衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

享和三年二月〔許〕

安政四年六月〔許〕

正田源右衛門 〔名〕・〔由〕

享和三年二月〔許〕

正田喜兵衛 〔控〕・〔由〕

安政四年六月〔許〕

大河伊兵衛 〔牒〕

享保九年六月〔許〕○

宝曆一三年四月〔許〕

安永二年六月〔許〕

大川伊助 〔名〕・〔姓〕・〔由〕

慶長一〇年八月〔口宣案・藤原信茂伊賀守〕

仁安二年一月牒本紙

曆応五年四月牒本紙

御藏下知状

享和三年後正月〔許〕

大川太郎兵衛 〔名〕・〔控〕・〔由〕

寛政六年後二月〔許〕

安政四年四月〔許〕

大川四郎兵衛 〔名〕・〔由〕

享和三年後正月〔許〕

大川藤兵衛 〔控〕・〔由〕

安政四年六月〔許〕

大川半右衛門 〔控〕・〔由〕

安政四年六月〔許〕

大川四郎次 〔控〕・〔由〕

安政四年六月〔許〕

大川善兵衛 〔控〕・〔由〕

安政四年六月〔許〕

文久元年七月〔許〕

大川太郎右衛門 〔姓〕

三木平右衛門 〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

享和三年後正月〔許〕

安政四年六月〔許〕

三木忠右衛門 〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

安政四年六月〔許〕

安政六年八月〔許〕

金子久右衛門 〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

享和三年後正月〔許〕

安政四年六月〔許〕

名古屋大学文学部研究論集(史学)

小沼八左衛門〔名〕・〔牒〕・〔由〕

安永二年九月〔許〕

天明六年五月〔許〕

小沼長五郎〔名〕・〔姓〕・〔由〕

享和三年二月〔許〕

長谷川瀨左衛門〔牒〕

安永二年九月〔許〕

安永三年一月〔許〕

長谷川四郎兵衛

安永三年一月〔許〕

長谷川四郎右衛門〔名〕・〔姓〕・〔由〕

小島彦左衛門〔牒〕

安永二年九月〔許〕

安永三年一月〔許〕

小島半兵衛〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

安政四年六月〔許〕

永島孫七〔控〕・〔由〕

安政四年六月〔許〕

石原平四郎〔牒〕

安永三年一月〔許〕

石原利八〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

享和三年二月〔許〕

安政四年六月〔許〕

石原小四郎〔名〕・〔姓〕

半田金兵衛〔名〕・〔由〕

享和三年二月〔許〕

半田五郎右衛門

安永三年一月〔許〕

半田半兵衛〔姓〕

鑄物師中

享和三年二月〔座法〕・〔天福元年牒〕

安政六年八月〔座法〕

都賀郡栃木村

石原市郎兵衛〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

安永三年二月〔許〕

安永四年三月〔許〕・〔建曆三年牒〕

安政四年六月〔許〕

大川市郎兵衛

安永三年二月〔許〕

都賀郡鹿沼宿

太田(小野口)惣兵衛〔控〕・〔由〕

文政二年六月〔許〕

安政四年六月〔許〕

太田(小野口)五郎右衛門〔控〕・〔由〕

陸奥国

文政二年六月〔許〕・〔座法〕○
安政四年六月〔許〕

都賀郡合戰場宿

都賀精一郎 〔由〕

文久元年七月〔許〕

河内郡宇都宮統今泉村

太田栄治 〔控〕・〔由〕

安政四年六月〔許〕

那須郡黒羽田町

木崎久蔵 〔控〕

嘉永四年一二月〔許〕

安政四年一二月〔許〕

鈴木儀助 〔由〕

安政四年一二月〔許〕

文久二年一〇月〔許〕

鈴木久蔵 〔由〕

安政四年一〇月〔許〕

大川春之進 〔由〕

慶応元年一二月〔許〕

那須郡油井村

木崎甚右衛門 〔由〕

慶応三年三月〔許〕

近世眞継家配下鑄物師人名録(1)〔笹本〕

会津郡会津材木町

星野宗七 〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

安永五年二月〔許〕○

安永六年六月〔許〕

万延元年九月〔許〕

長谷川宗七

安永四年六月〔許〕

桐山掃部介 〔姓〕

河沼郡坂下村

二瓶久右衛門 〔姓〕

文化二年五月〔許〕

会津郡桂林寺村

早山主殿介 〔名〕・〔控〕・〔由〕

文化八年後二月〔許〕・〔建曆三年牒〕・〔天福元年牒〕・〔興

州惣代任命書〕

天保五年四月〔許〕

安政五年九月〔許〕

会津郡会津七日町

早山佐兵衛

文化八年六月〔許〕○・〔建曆三年牒〕・〔天福元年牒〕

名古屋大学文学部研究論集(史学)

谷彦左衛門

〔名〕・〔控〕・〔由〕

文政九年二月(座法)○

安政六年三月(許)

白河郡上石井村

石川忠兵衛

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

明和七年二月(座法)

安永六年二月(許)・(仁安二年牒)

寛政元年七月(許)

万延元年一〇月(許)

慶応二年二月(座法)

石川文左衛門

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

安永六年二月(許)

寛政元年七月(許)

万延元年一〇月(許)

石川茂重郎

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

安永六年二月(許)

万延元年一〇月(許)

石川茂兵衛

寛政元年七月(許)

白河郡白川横町

斉藤善兵衛

〔名〕・〔控〕・〔由〕

文化一五年三月(許)

白河郡北野村

近藤八兵衛

〔控〕・〔由〕

安政四年一月(許)

白河郡東河内村

作右衛門

〔控〕・〔由〕

安政四年一二月(許)

白河郡松前湯殿沢町

福光良蔵

〔由〕

安政六年二月(許)

磐前郡岩城平梅香町

椎名浅右衛門

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

安永七年六月(許)・(天福元年牒)

安永八年六月(許)・(座法)

天明三年二月(大)○

嘉永元年八月(許)

安政六年二月(許)

安政六年三月(許)

椎名久兵衛

寛政九年三月(許)○・(申渡)○

椎名久太郎

嘉永二年八月(許)

伊達郡梁川後町

桑島弥七〔名〕・〔控〕・〔由〕

文政三年三月〔許〕

伊達郡仙台日名町

釜屋治郎左衛門〔姓〕

岩瀬郡須賀川町

相楽猪左衛門〔名〕・〔由〕

万延元年四月〔許〕

相楽猪三郎

万延元年四月〔許〕

内藤欣三郎〔名〕・〔由〕

天保一〇年二月〔許〕

宗像友右衛門〔控〕

田村郡三春中町

宗像藤右衛門〔名〕・〔由〕

嘉永六年一月〔許〕・〔座法〕○

菊多郡上西郷村

菅野栄作〔名〕・〔控〕・〔由〕

万延元年四月〔許〕

菊多郡植田村

椎名久太郎〔名〕・〔控〕・〔由〕

安政六年二月〔許〕

安積郡日和田村

近世貞継家配下鋳物師人名録(1)〔准本〕

佐藤東蔵〔名〕・〔控〕・〔由〕

安政二年一月〔許〕

文久二年一月〔許〕

佐藤三左衛門〔名〕・〔控〕・〔由〕

安政二年一月〔許〕

文久二年一月〔許〕

佐藤彦右衛門

安政二年一月〔許〕

佐藤金右衛門

文久二年一月〔許〕

鈴木甚兵衛〔名〕・〔控〕

嘉永元年一月〔許〕

安政二年一月〔許〕

鈴木金右衛門〔由〕

安政二年一月〔許〕

文久二年一月〔小工取締〕

藤橋舛右衛門〔由〕

慶応二年八月〔許〕

石沢佐之吉〔由〕

慶応二年八月〔許〕

標葉郡筒木原村

菜花庄左衛門〔由〕

万延元年四月〔許〕

猪狩賀吉〔由〕

万延元年四月〔許〕

渡辺多十〔由〕

万延元年四月〔許〕

出羽国

村山郡山形銅町

佐藤金重郎〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

寛政四年一〇月〔許〕・〔仁安二年牒〕

天保三年四月〔許〕

田川郡庄内廻館村

太田善兵衛〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

寛政一二年八月〔許〕・〔曆応五年牒〕・〔座法〕

文久元年四月〔許〕・〔由緒〕

田川郡靄岡三日市

佐藤七兵衛〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

寛政一〇年四月〔許〕・〔曆応五年牒〕

享和元年四月〔許〕・〔曆応五年牒〕・〔座法〕

慶応三年九月〔許〕

国松市郎右衛門〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

真継美濃守康綱判物

寛政一〇年八月〔許〕・〔曆応五年牒〕

国松市郎兵衛

寛政一〇年八月〔許〕

田川郡靄岡八日町

原徳藏〔由〕

文久二年一二月〔許〕

田川郡大山村

伊藤助右衛門〔名〕・〔控〕・〔由〕

天保三年二月〔許〕

慶応四年二月〔許〕

飽海郡酒田

国松佐七〔名〕・〔由〕

寛政一二年一二月〔許〕・〔曆応五年牒〕

国松吉右衛門〔名〕・〔控〕・〔由〕

由利郡本庄新町

北原金左衛門〔名〕・〔控〕・〔由〕

文政三年四月〔許〕・〔曆応五年牒〕

万延二年正月〔許〕

明治三年四月〔由緒〕

若狭国

遠敷郡金屋村

芝田喜左衛門 〔名〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

嘉永六年二月〔許〕

芝田八治郎 〔名〕・〔控〕・〔由〕

芝田清左衛門 〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

芝田長右衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

芝田勘右衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

芝田清右衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

芝田弥左衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

芝田八左衛門 〔名〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

芝田孫右衛門 〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

芝田源右衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

芝田孫左衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

芝田久太夫 〔名〕・〔控〕・〔由〕

芝田市太夫 〔名〕・〔控〕・〔由〕

芝田新助 〔名〕・〔控〕・〔由〕

芝田庄左衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

芝田利兵衛 〔名〕・〔控〕

芝田又左衛門 〔名〕・〔控〕・〔牒〕

芝田吉郎右衛門 〔姓〕

芝田六左衛門 〔牒〕

芝田太郎左衛門 〔牒〕

芝田長左衛門 〔牒〕

芝田長太夫

芝田新内 〔牒〕

芝田文治 〔牒〕

芝田源之進 〔牒〕

芝田十左衛門

芝田長次郎

坪内九兵衛 〔名〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

大野九郎左衛門 〔名〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

建曆三年一月牒写

御藏下知状

北孫左衛門

建曆三年一月牒写

御藏下知状

武田喜太夫 〔名〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

森吉右衛門 〔名〕・〔控〕・〔牒〕

森吉郎右衛門 〔名〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

森重右衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

高田太郎左衛門 〔名〕・〔控〕・〔由〕

松浦茂多郎 〔由〕

久保庄左衛門 〔由〕

鑄物師惣中

正徳年中〔建曆三年牒〕

近世真継家配下鑄物師人名録(1)〔笹本〕

名古屋大学文学部研究論集(史学)

- 享保一九年三月(許)○
- 宝曆四年後二月(許)○
- 明和七年閏六月(許)○
- 天明三年四月(許)
- 嘉永六年二月(許)

越前国

敦賀郡鑄物師村

河瀬甚右衛門

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

曆応五年四月牒写

御蔵下知状

正徳四年一〇月(許)

享保二〇年後三月(許)

宝曆四年七月(許)

明和八年七月(許)

天明四年八月(許)

文化五年後六月(許)

文政六年正月(許)

文政一一年七月(許)

安政二年一月(許)

安政四年二月(許)

竹中源右衛門

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

御蔵下知状

正徳四年(許)

享保二〇年後三月(許)

宝曆四年六月(許)

明和八年二月(許)

天明四年八月(許)

文政一一年八月(許)

安政四年二月(許)

竹中助四郎

〔控〕・〔由〕

文化一〇年九月(許)

文政一一年七月(許)

安政四年二月(許)

竹中忠兵衛

〔名〕・〔控〕・〔由〕

文政一一年七月(許)

竹中助次郎

〔名〕

吉田郡芝原志比境村

清水四郎平

〔名〕・〔姓〕・〔控〕

文化二年二月(許)

文政三年二月(許)

文政一三年二月(許)

嘉永六年五月(許)

安政七年二月(許)

清水左右衛門 [名]・[控]

文政一三年二月(許)

慶応元年一月(許)

清水藤左衛門 [姓]

清水清左衛門

寛政九年後七月(許)

渡部伊左衛門

寛政九年後七月(許)

渡部藤兵衛

寛政九年後七月(許)

鑄物師中

寛政九年後七月(天福元年牒)

吉田郡松岡窪村

渡辺藤兵衛 [名]・[控]・[牒]

明和八年三月(許)

天明三年七月(許)

文政六年二月(許)

文政一三年二月(許)

嘉永六年五月(許)

安政四年七月(許)

慶応二年四月(許)

渡辺猪左衛門 [名]・[姓]・[牒]

近世真継家配下鑄物師人名録(1)(笹本)

明和八年三月(許)

天明三年七月(許)

文化八年二月(許)

文政一二年二月(許)

嘉永三年二月(許)

嘉永六年五月(許)

安政四年七月(許)

渡辺嘉兵衛 [名]・[牒]

明和八年三月(許)

天明三年七月(許)

文政六年二月(許)

安政四年二月(許)

渡辺惣左衛門 [姓]・[控]

明和八年三月(許)

天明三年七月(許)

渡辺四郎兵衛 [姓]・[牒]

久保庄左衛門 [控]

安政四年二月(許)

安政五年一月(許)

安政六年二月(許)・(天福元年牒)

清水四郎平

天明三年九月(許)

名古屋大学文学部研究論集(史学)

清水藤左衛門

天明三年九月(許)

渡辺八郎右衛門

〔牒〕

渡辺与惣右衛門

〔牒〕

又右衛門

〔牒〕

仁左衛門

〔牒〕

今立郡五分一村

六左衛門

貞享五年二月(許)

松村善兵衛

正徳四年一〇月(許)

松村次右衛門

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕

仁安二年一月牒

天文御文

天正八年三月柴田勝家判物

天正一一年六月丹羽五郎左衛門判物

天正一三年九月某判物

文禄五年二月某判物

正徳二年一月(許)

正徳四年一〇月(許)

正徳五年七月(許)

正徳五年一〇月(寛永一八年八月座法)

享和二年四月(許)

文化一三年三月(許)

文政一二年三月(許)

弘化二年一〇月(許)

松村善太夫

〔牒〕

坂井郡三國湊

浅田新右衛門

〔控〕・〔由〕

嘉永六年一〇月(許)

慶応三年六月(許)

浅田和右衛門

〔名〕

南條郡山家村

林治右衛門

天明元年一〇月(許)

南條郡島村

林太兵衛

正徳四年一〇月(許)・(仁安二年牒)

正徳六年二月(仁安二年牒)

元文三年一〇月(許)

万延元年六月(許)

文久三年六月(許)

慶応三年一〇月(許)

林次郎右衛門

文久三年一〇月〔許〕

丹生郡金屋村

渡辺庄兵衛

天明三年一〇月〔許〕○・〔大〕○

加賀国

河北郡金沢中島町

武村弥吉

〔名〕・〔牒〕・〔由〕

仁安二年一月牒写

天福元年二月牒写

曆応五年四月牒写

文化一〇年八月〔許〕・〔曆応五年牒〕・〔天福元年牒〕・〔座法〕

〔法〕

文政一三年六月〔許〕

嘉永元年八月〔許〕

嘉永三年六月〔許〕

安政五年九月〔座法〕・〔吹屋許可状〕

慶応三年八月〔許〕

武村弥治兵衛

〔名〕・〔控〕・〔由〕

河北郡金沢高路町

横河九左衛門

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔由〕

天明五年三月〔許〕

近世真継家配下鋳物師人名録(1)〔笹本〕

文化三年五月〔許〕・〔天福元年牒〕

文化一四年一〇月〔許〕

明治三年四月〔許〕

横河治右衛門

天明五年三月〔許〕

横河長太郎

天明五年三月〔許〕

河北郡金沢卯辰山

越野六郎右衛門

〔由〕

明治二年三月〔許〕

河北郡金沢

高宮長左衛門

正徳四年一月〔許〕○

石川郡金沢野町

平井与四兵衛

〔姓〕・〔牒〕

仁安二年牒

御蔵下知状

天明五年三月〔許〕

平井与四太郎

天明五年三月〔許〕

村山四郎兵衛

〔名〕・〔姓〕・〔控〕・〔牒〕・〔由〕

天福元年一月牒写

名古屋大学文学部研究論集(史学)

慶長二年三月(口宣案・藤原朝臣家政豊後守)

正徳四年一月(許)

天明五年三月(許)

文化三年八月(許)・(座法)

文化一四年一〇月(許)

嘉永二年七月(許)

明治三年四月(許)

村山治助

天明五年三月(許)

文化三年八月(許)

村山半助

天明五年三月(許)

文化三年八月(許)

村山半四郎

文化一四年一〇月(許)

村山徳松

正徳四年一月(許)

邨山幾作

平井権兵衛

平井吉兵衛

鑄物師中

文化三年八月(座法)

能美郡金沢千日前

横川与惣右衛門

能美郡小松

渡辺庄兵衛

能美郡小松八日市町

中山善右衛門

明和八年四月(許)

明和八年七月(天福元年牒)

文化一四年九月(許)

天保一一年四月(許)

能美郡小松八幡前

渡部五右衛門

享保一六年九月(許)

渡部与惣次

享保一六年九月(許)

渡辺五兵衛

渡辺与惣右衛門

渡辺与三右衛門

能美郡開発村

松本久五郎

仁安二年牒写

御蔵下知状

江沼郡大聖寺鍛冶町

蒲生和太郎〔由〕

慶応四年七月〔許〕

能登国

鳳至郡中居村

北村重兵衛〔名〕・〔控〕・〔由〕

仁安二年一月牒本紙

曆応二年九月將軍家政所本紙

天正一〇年八月天明鑄物につき女房奉書

慶長一六年三月〔酒井家次判物〕

天福元年十一月牒写

仁安二年正月牒写

仁安二年二月牒写

建曆三年一月牒写

建保二年五月写

曆応五年四月写

承久四年三月写

貞応元年五月写

嘉禎三年八月写

永正一四年八月一七日

天文二年三月二十六日写

近世真継家配下鑄物師人名録(1)〔榎本〕

天文四年三月二三日〔日野柳原家雜掌判物〕

天文四年一月二一日

天正一〇年一〇月一〇日〔前田利家印判状〕

慶長一二年三月二十六日

正徳五年七月〔許〕

寛政六年二月〔許〕・〔清涼殿燈籠調進書〕

文化九年八月〔仁安二年牒〕

天保四年二月〔許〕・〔座法〕

天保一一年八月〔許〕

万延元年九月〔許〕

小林次右衛門〔姓〕・〔由〕

寛政九年八月〔曆応五年牒〕

小林佐兵衛〔名〕・〔由〕

天保一一年八月〔許〕

天保一四年五月〔許〕

安政三年七月〔許〕

慶応三年八月〔仁安二年牒〕

小林瀬平〔由〕

明治三年三月〔許〕

島竹仁兵衛〔姓〕・〔由〕

慶応二年二月〔許〕

慶応三年八月〔仁安二年牒〕

名古屋大学文学部研究論集(史学)

米田孫八〔由〕

文久四年二月(許)・(座法)

元治二年三月(許)

明治三年三月(許)

真清田三右衛門〔姓〕・〔牒〕・〔由〕

仁安二年一月牒本紙

文禄五年三月(口宣案・藤原秀綱三右衛門尉)

仁安二年正月牒写

仁安二年二月牒写

建曆三年一月牒写

貞応元年一月牒写

暦応五年四月牒写

寛政六年二月(燈籠受取書)

一一月二日(清涼殿燈籠調進書)

原田藤左衛門

正徳四年一〇月(許)・(惣代任命書)

小泉次郎右衛門

正徳四年一〇月(許)・(惣代任命書)

宮崎七左衛門

正徳四年一〇月(惣代任命書)

島竹泉右衛門

正徳五年七月(許)

北村藤左衛門

正徳五年七月(許)

中瀬徳右衛門

正徳五年七月(許)

国田与三兵衛

慶長一三年三月旧書

国田伝十郎

〔由〕

暦応五年四月牒写

慶応二年三月(許)

村上新左衛門

慶長一二年旧書

村山吉右衛門

〔由〕

慶応二年二月(許)

守田武太郎

〔由〕

慶応三年八月(許)・(仁安二年牒)

村山光左衛門

慶応三年八月(仁安二年牒)

遠藤善之助

〔由〕

慶応三年二月(許)

福光兵右衛門

〔名〕・〔控〕・〔由〕

天保一五年二月(許)○

嘉永六年正月(許)

真清田三郎兵衛〔姓〕

国松善治郎〔姓〕

小野藤右衛門〔姓〕

小野重兵衛〔姓〕

小野茂八〔姓〕

米田小六〔姓〕

米田利三郎〔姓〕

小泉豊次郎〔姓〕

小泉久五郎〔姓〕

小泉次右衛門〔由〕

寛政九年八月〔曆応五年隲〕

慶応四年八月〔許〕

島田茂八〔姓〕

森川与右衛門〔牒〕

森川長右衛門〔由〕

明治三年三月〔許〕

須村藤八郎〔牒〕

岡村新右衛門〔由〕

明治三年三月〔許〕

神崎金右衛門

森川与三右衛門

村田小太郎

近世真継家配下鑄物師人名録(1)〔笹本〕

金光清七

鑄物師惣中

正治五年七月八日〔將軍家御教書〕

永祿四年三月〔御蔵兵庫判物〕

宝永二年一月〔頭役下知状〕

正徳五年七月〔許〕

享保一九年二月〔許〕

宝曆四年五月〔許〕

宝曆七年六月〔許〕

明和七年一〇月〔許〕

天明四年一〇月〔許〕・〔座法〕○